今221笠間育ち②

安心、新鮮、おいしいを支える地元農業の紹介コーナー。 食の安全が第一に求められ、農産物への関心もますます高まる 今こそ、地元農家の実力発揮のとき!旬の情報をお届けします。



◆実を付け始めた枝を見つめる梅農家の小松﨑榮さん(泉)

梅栽培を始めて今年でなんと49年目という小松崎さん。「いい梅ができるように毎日畑に来ているよ。今日は草刈り。」と、はつらつと語っていました。元気の秘訣は、毎日ポットに入れてきて、畑で飲む自家製の梅ジュースだそうです。



▲収穫間近の青梅

小松崎さんの75アールもの梅林では、白加賀・十郎・南高・杉田・小梅の5品種が栽培されています。

「梅は三毒(食べ物、水、血の毒)を絶つ」とも言われ、その効用は古くから伝えられています。抗菌効果、疲労回復などの効能が認められています。



このコーナーで紹介された農産物については、本所農政課 (内線 525) にお問い合わせ

県内一の笠間の梅

ご存知でしょうか。笠間市は、生産面積、収穫量ともに 県内一の梅の産地です。笠間市内には、76軒の梅栽培農 家があり、市全体で8634もの栽培面積を誇っています。 青梅の出荷は、5月末から6月いっぱい。それぞれの農家 は、作業しやすく、各枝にまんべんなく日が当たるように と、剪定と手入れに苦労を重ねています。それが、すがす がしい香りが漂う青梅の安定した収穫につながっています。

笠間市では、毎年6月下旬ごろ、手作りの梅ジュースなど を作る梅まつりが愛宕山のスカイロッジで開かれています。

花香る梅林

愛宕山の斜面を利用して、栽培されている梅林。 花咲く 頃は、まるで白い炎が広がっているよう。

| 応報ギャラリー

●申込み・問合せ

〒309-1792 笠間市中央 3 - 2 - 1

笠間市役所市長公室秘書課 広報広聴グループ

このコーナーでは、皆さんのお気に入りの作品を紹介させていただきます。絵画・書道・俳句・短歌・写真・イラストなどの作品を募集しています。必ず住所、氏名(ペンネームの場合、本名も併記)を記入し、お送りください。掲載させていただいた人には、薄謝を進呈します。

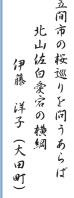
攵

山﨑 久三 (美原)孔つつじ佐白北山愛宕山

柳月かな孫が身丈やつくづくし



親 電 に 話 X 1 繋ぐ ル 7 井 ŧ 会 秒 話 孝之 0) す 孫 絆 〒 ぞ 娘 郷





人口と世帯数 (常住人口 4.1 現在)

●人 ロ 80,505 人 (−82 人) 男 39,412 人 (−55 人)

女 41,093 人 (-27人) ●世帯数 27,750世帯 (+84世帯) (前月比) ○広報かさまに掲載されている あなたの写真を差し上げます。 お問合せは秘書課(内線225)まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。



アドレス

http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/